

第1学年 国語科改善学習指導案

公開授業1

授業者 佐藤 みな美

1 単元名 学校で見つけたものを紹介しよう

学習材名 「しらせたいな、見せたいな」(光村図書1年下)

2 単元について

(1) 学習者について

児童は、1学年「おおきくなった」において、観察したことを基に、一つの観点毎に一語～一文で説明し、それらを並べてつながりのある文にする学習をしてきた。「こんなことしたよ」では、身近なことや体験したことを、語と語のつながりに気をつけて、二文から三文で表すことを学習してきた。

児童は、毎日の朝の会のスピーチなど、話すことには抵抗が低く、自分が思ったことを文章に書き表せる児童も増えてきている。しかし、促音や拗音などを正しく書き表したり、助詞を適切に使ったりすることがしっかり身につけていないため、相手に正しく自分の思いを文章で伝えきれないことも多い。そのため、週末毎に絵日記に取り組ませたり、習った文字を使って言葉を作りノートに書いたり、句読点に着目して読み直す機会を増やしたりしてきた。

(2) 学習材について

本単元では、「書きたいことをはっきりさせ、くわしく観察して発見したことの中から、園の先生がびっくりすると思うことを紹介する文を書く」言語活動を通して、発見したことを基に、知らせたいことが伝わるような文を書く資質・能力を育てていく。

学習材「しらせたいな、見せたいな」は、前学習材「おおきくなった」で身につけた、観察した事柄を観点ごとに文にする力をいかし、対象をより詳しく観察し、的確な言葉で表して文にし、文のつながりに気をつけて文章にする力を付ける。また、「主語と述語の関係」「句読点」「正しい文字表記」の観点で自分の書いた文章を推敲し、友達と交流することで視野を広げ、ここでの学習を「いいこといっぱい一年生」へとつなげる。

(3) 指導に当たって

第1次では「つかむ」段階として、水沢南小学校の特別教室や体育館、校庭、ビオトープ等について説明する文章を書き、園の先生に伝えたい気持ちをもたせる。教師作成の紹介文を提示し、「園の先生に小学校での自分だけの発見を詳しく知らせる」という単元のゴールをイメージさせることで学習への意欲を高めさせ、最終目標に向けて、学習課題を立てていきたい。

第2次では「きく・あらわす」段階として、説明文を書く目的や相手を確認し、どんな観点で観察したらいいか話し合う。そこで出された観点を基に対象の観察を行う。必要に応じてメモをとったり絵を描かせたりしたい。その発見メモをもとに短冊カードを書く。短冊カードは対象物を主語にして文で表す。次に短冊カードの順番を考え、それを基に文章を書く。

第3次では「いかす」段階として、紹介文を読み合い、感想を伝える活動を行う。自分とは違う観点で書き表している書き方や、書き方の違いに気づき、幼稚園・保育園との交流に生かしていきたい。また、学級全員の文章を出身園に送り見ていただき、いろいろな観点から観察することで様子を詳しく伝えられることに喜びを感じさせたい。

3 単元の指導目標と評価規準

	指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	○発見したことを説明する文章を書くことに興味をもち、進んで観察し書くことができる。	・発見したことを説明する文章を書くことに興味をもち、進んで紹介文を書こうとしている。
書く能力	◎学校にあるものから書くことを決め、題材に必要な事柄を集めることができる。 ○語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文を書くことができる。	・知らせたいものをよく観察し、特徴を短い言葉で書き込んでいる。【(1) ア】 ・観察したことを基に、伝えたいことが伝わるように内容のまとまりに気をつけて文を書いている。【(1) ウ】
言語に関する知識・理解・技能	○主語と述語の関係に注意し、句読点や助詞を正しく用いて書くことができる。	・主述の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いている。【イ (オ) (カ)】

4 本単元に係る資質・能力の系統性

<p>【身につけている資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点ごとに取材する。 ・一つの観点毎に一語～一文で説明する文を書く。 <p>「おおきくなった」</p>	<p>【育てたい資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で観点を決めて取材する。 ・発見したことを基に、知らせたいことが伝わるような文を書く。 <p>本単元 「しらせたいな、見せたいな」</p>	<p>【次に学ぶ資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材に必要な事柄を集める。 ・事柄の順序を考えて書く。 <p>「いいこといっぱい、一年生」</p>
--	---	--

5 学習指導計画（全8時間）

指導過程	主な学習活動	【評価規準】 (評価方法)
<p>第1次 学校探検の様子を思い出したり、園の先生に知らせたいものを考えたりし、学習の見通しをもつ。(1時間)</p>	<p>① 単元のゴールをイメージさせ、学習への意欲と見通しをもたせる。(2組本時)</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見したことを知らせる文を園の先生へ送ることに意欲をもち、何を伝えるか思いを膨らませ、見通しをもっている。(ノート・発言)
<p>第2次 紹介文の書き方を知り、読み手に伝わるよう、観察したことを的確な観点で表す。(6時間)</p>	<p>② 園の先生に知らせたい場所を決め、よく観察し、メモをする。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らせたいものについて観察する観点を考え、メモしている。 <p>(話し合い・観察)</p>
	<p>③ 描いた絵から線を引き出し、観察して見つけたことを書き込む。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らせたいことを観点を手がかりにしながら短い言葉で書き表している。 <p>(観察メモ)</p>
	<p>④ 発見メモから文を作るにはどうすればいいか話し合う。書き出しを書く。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見メモを基に、様子が分かる文にすることを理解している。(ワークシート)
	<p>⑤ ⑥ 発見メモを文にして短冊カードに書く。(4組本時)</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見メモを基に、伝えたいことが伝わるように文に書いている。(短冊カード)
	<p>⑦ 文章を読み返し、必要に応じて直す。</p>	<p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を、句読点や文字に気をつけて読み返し、間違いを直している。 <p>(ワークシート)</p> <p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主述の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いている。

<p>第3次 完成した文章を読み合 い、交流する。 (1時間)</p>	<p>⑧ 書いた文章を友達と読み合い、よいところを伝え合う。 交流を踏まえて学習感想を書く。</p>	<p>【関】 ・書いたものを読み合い、友達の文章のよいところを相手に伝えている。(観察)</p>
---	---	--

6 本時の学習指導 (1/8) 公開授業1

- (1) 目標 学習の見通しをもち、紹介文を書くことに興味をもつことができる。
(2) 展開

段階	学習活動	学習内容	具体的な手立て	◇評価・準備物
<p>つかむ</p> <p>大きく・あらわす</p>	<p>1 学校探検について話し合う。 ・学校探検で見つけたものについて話し合う。 ・発見したものを伝える相手を設定する。</p>	<p>○発見メモ</p> <p>○紹介文 ・観察したことを詳しく書く。 ・観点別に書く。</p>	<p>つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科での学校探検を想起させる。 ・学校探検で初めて知ったものや、驚いたものなどを出し合う。 ・園にはなかったものについて話し合う。 ・自分の出身園について話をする中で、園の先生に発見したことを伝えたいと思えるように声掛けや掲示を工夫する。 <p>大きく・あらわす</p> <p>・学習の見通しをもてるように、発見メモの書き方を提示する。</p> <p>・教師のモデル文を提示し、どのようなことに気をつけて紹介文を書けばよいのかを話し合わせる。 ・観点を示すときの支援として、絵カードとともに示し、普段から児童の目に触れるようにしておく。</p> <div data-bbox="863 1749 1177 1980" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見た感じ (目) におい (鼻) 触った感じ (手) 音 (耳) 感じたこと (心)</p> </div>	<p>・学校探検の写真</p> <p>・園舎の写真</p> <p>教師のモデルを机ではなくクォードに変更。児童の興味関心を引き出すため。</p> <p>・観点の絵カード</p>
<p>いかす</p>	<p>2 どんな文を書くか知る。 ・モデル文を基に紹介文の書き方をペアで考える。 ・モデル文を基に紹介文の書き方を全体で交流する。</p> <p>3 単元の課題設定をする。 ・単元の学習課題を設定し、学習の見通しをもつ</p>		<p>①がっこうにあるものをよくみて、えんのせんせいにしらせるぶんをかこう。</p>	<p>◇発見したことを知らせる文を園の先生へ送ることに意欲をもち、何を伝えるか思いを膨らませ、見通しをもっている。(ノート・発言)</p>

	<p>4 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・次時の確認をする。 	<p>いかす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元で頑張りたいことをノートに書き、発表させる。 ・紹介したいものについて、次回もう一度詳しく観察をしに行くことを確認する。 	<p>大きさや色など、観点に触れて振り返りを書くよう声かけをする。</p>
--	--	--	---------------------------------------

7 板書計画 公開授業1

